

講義名	公務員特別演習（行政職）			授業形態	
担当教員	吉川 満 / 河辺 有希生	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	PSC350
主題と概要					
主題 公務員特別演習は、公務員を目指す学生を対象とする、1年後期(演習Ⅰ)から4年前期(演習Ⅳ)まで一貫したプログラムである。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、公務員受験のライバルは多く、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くはない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない。つまり公務員試験には、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められている(まさに本学が掲げる「ネアカのひのひこたれず」の精神をもった人材)。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていく。 概要 本授業、公務員特別演習Ⅴ(行政職コース)では、数的処理の復習などの教養試験対策及び、3年次ならではの応専書籍や面接練習、公務員業界についての研究や、経済学の問題演習(過去の公務員試験問題)とその解説などを行う。 この授業で扱う経済学の問題演習は、数が非常に限られるため、試験合格を目指す者は別途、前期から開講される有料の学内試験対策講座を受講したり、他の公務員試験対策の専門学校に通ったりするなど、授業時間外での学習が必要です。					
到達目標					
公務員の仕事に関する知識や、数的処理などの教養試験対策、経済学の知識の確認を行い、公務員試験に対するモチベーションを高め、自分自身で試験対策について考え、戦略的に試験対策を行えるようになる。					
提出課題					
授業内で適宜指示する。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
課した課題については、登週の授業等で、解答・解説を行う予定である。					
評価の基準					
授業への出席状況を含めた平常点、論文などの提出課題などで総合的に評価する。					
履修にあたっての注意・助言他					
・本クラスは、真剣に公務員試験合格を目指す学生を対象とします。理由なく遅刻・欠席しないこと。 ・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くありません。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターです。受講生のみなさんが、独自に試験対策を練り、自習を重ねることが前提となっていることに注意して下さい。 ・公務員試験合格を目指す場合、当授業で扱う問題演習だけでは勉強量として全く足りません。本気で公務員合格を目指す人については、前期から開講される有料の学内試験対策講座を受講したり、他の公務員試験対策の専門学校に通ったりするなど強くお勧めします。 ・単位認定の関係から、当授業では専門試験レベルの過去問はあまり扱うことができません。このため、専門試験レベルの学習が必要な人については各自での試験準備が必要になります。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾の これで完成! 経済学.		伊藤塾	KADOKAWA	1870	404602500X
.公務員試験の教科書 論文・作文本 令和7年度受験.		ゆうシ	キヤリアード合同会社	1980	4911062053

その他		
授業資料や課題を配布する。		
授業計画		
1 ガイダンス ＜予習120分＞ 各自の受験スケジュール・学習計画をまとめる ＜復習120分＞ 授業内容、方針と目標について理解し、これからのすべき学習計画についてまとめる 2 教養試験対策、論文文・時事問題対策 ＜予習120分＞ 各自の問題集等で前時に指示があった項目の見直しをする、論文文の書き方や時事の問題を解く上で、どのような対策が必要かを考える ＜復習120分＞ 講義での問題対策の内容をまとめて復習し、理解を深める 3 教養試験対策、公務員試験のための経済学（ミクロ経済学1） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「ミクロ経済学」の授業を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 4 教養試験対策、公務員試験のための経済学（ミクロ経済学2） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「ミクロ経済学」の授業を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 5 教養試験対策、グループディスカッション対策 ＜予習120分＞ 各自の問題集等で前時に指示があった項目の見直し、またグループディスカッションの仕方について調べる ＜復習120分＞ 講義での問題対策の内容をまとめて復習し、理解を深める。グループディスカッションの役割や内容について振り返りまとめる 6 教養試験対策、公務員試験のための経済学（マクロ経済学1） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「ミクロ経済学」の授業を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 7 教養試験対策、公務員試験のための経済学（マクロ経済学1） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「マクロ経済学」の授業を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 8 教養試験対策、自治体研究 ＜予習120分＞ 各自の問題集等で前時に指示があった項目の見直しをする、前時に示された自治体研究についての事前の課題について行う ＜復習120分＞ 講義での問題対策の内容をまとめて復習し、理解を深める。自治体研究で足りなかった点や新たな視点について振り返りまとめる 9 振り返り ＜予習120分＞ 前半の講義を振り返り、不足している学習について演習や復習を行い、疑問点・課題を明らかにしておく ＜復習120分＞ 講義での振り返り、後半に向けての学習課題や計画をまとめる 10 教養試験対策、公務員試験のための経済学（マクロ経済学2） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「マクロ経済学」を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 11 教養試験対策、公務員試験のための経済学（財政学） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「財政学」を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 12 内定者交流会（予） ＜予習120分＞ 内定者に質問してみたい項目を具体的にあげ準備する ＜復習120分＞ 内定者の講演から、自分の計画や学習内容、面接に対する心構えなど補うべき点・課題を明らかにする 13 面接対策等 ＜予習120分＞ 各自の面接試験で想定される質問を調べ、その答えを準備する ＜復習120分＞ 面接対策での内容をまとめて、答えを修正し、内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる 14 教養試験対策、公務員試験のための経済学（経済事情、経済史など） ＜予習120分＞ 各自の教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直し、また既習の「経済事情」、「経済史」に関連する授業を復習する ＜復習120分＞ 講義での教養演習の内容を解けるまで復習、経済学で学んだことをまとめて理解を深める 15 まとめ・模擬試験（予） ＜予習120分＞ これまでの講義を振り返り、不足している学習について演習や復習を行い、疑問点・課題を明らかにしておく ＜復習120分＞ 講義でのまとめ・振り返りを行う、2月からの受験・学習計画を具体的にまとめ、実行していく		
授業計画は進度により一部変更の場合がある。		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習） ○ ウ：ディスカッション、ディベート ○ オ：プレゼンテーション キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ○ エ：グループワーク カ：実習、フィールドワーク
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
本授業で公務員の仕事内容を知ったり、試験対策準備を行ったりすることにより、世の中に対する経済学からの視点や、社会人(公務員)からの視点を垣間見ることができる。これらの視点が、ディプロマポリシーの「現代社会の諸問題について、幅広い視点から考察し課題を提案することができるようになる」に関連している。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
実務経験あり。現実に即した具体的な事例などを紹介していき、公務員としての心構えはもとより、業務で必要とされる経済的思考等も併せて、指導していく。		
備考		